

機能ガイド

「スクリーンセーバー」



目次

1. 機能の概要	...	1 ページ
素材について	...	1 ページ
機能について	...	1 ページ
2. 各種選択・設定操作について	...	2 ページ
3. スクリーンセーバーを選択する	...	2 ページ
素材の選択内容について	...	3 ページ
「全選択」ボタンおよび「全解除」ボタン	...	3 ページ
4. 待ち時間を設定する	...	4 ページ
5. 時刻タイマーを設定する	...	5 ページ
スクリーンセーバー表示機能の優先について	...	6 ページ
「有効」欄の操作について	...	6 ページ
「リセット」欄の操作について	...	6 ページ
時間帯の重複について	...	7 ページ
6. メッセージボードを作成する	...	8 ページ
6-1. トレパチテーブルでメッセージを作成する場合	...	8 ページ
改行について	...	9 ページ
作成・登録した内容を修正したい場合	...	10 ページ
6-2. パソコンでメッセージを作成する場合	...	11 ページ
メッセージ作成時の注意事項	...	11 ページ
外部メディアの取り扱いと注意	...	13 ページ
改行について	...	16 ページ
作成・登録した内容を修正したい場合	...	16 ページ
7. カスタムボードを作成する	...	17 ページ
作成・登録した内容を修正したい場合	...	18 ページ

1. 機能の概要

本機能は、内蔵された写真素材や、任意に作成したメッセージ素材を使用し、スクリーンセーバーまたは伝言板としてご活用いただくことができるものです。以下の素材と機能を用い、外部モニターと併用することで、様々な用途や場面にお使いいただけます。

【素材について】

以下の素材をスクリーンセーバーに使用することができます。

- ① 写真素材 : 写真素材が内蔵されています
- ② メッセージボード : テキストメッセージを登録・使用できます
- ③ カスタムボード : お絵かき素材を登録・使用できます

【機能について】

以下の 5 つの機能が搭載されており、お好みや用途に応じて設定することが出来ます。

① スクリーンセーバー選択機能

「写真素材」・「メッセージボード」・「カスタムボード」の中から、お好みの素材を選択することが出来ます。複数の素材を選択した場合は、選択したすべての素材が順不同で画面に表示されます。素材が選択されていない状態では、スクリーンセーバーは作動しません。

② 待ち時間設定機能

スクリーンセーバーが作動するまでの時間を設定することが出来ます（1～60 分）。トレパチテーブルが非稼動状態となった後、設定された時間が経過するとスクリーンセーバーが作動します。

③ 時刻タイマー設定機能

任意の素材について、開始および終了を設定した時刻間のみ表示することが出来ます。最大 5 つまで時刻タイマーを設定することが可能です。

④ メッセージボード作成機能

トレパチテーブルもしくはパソコンにてテキストメッセージを作成し、素材として登録することが出来ます。最大 500 個までのテキストメッセージを作成・登録することが可能です。

⑤ カスタムボード作成機能

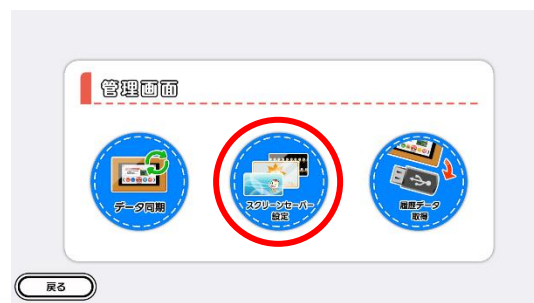
トレパチテーブル上で簡単なお絵かきを行い、素材として登録することが出来ます。最大 5 個まで作成・登録することが可能です。

2. 各種選択・設定操作について

スクリーンセーバーに使用する素材の選択や、前記の各種機能の設定を行うには、画面左端から管理画面を引き出し、「管理」ボタンをタッチした後、「スクリーンセーバー設定」アイコンをタッチします。



（管理画面の「管理」ボタンをタッチ）



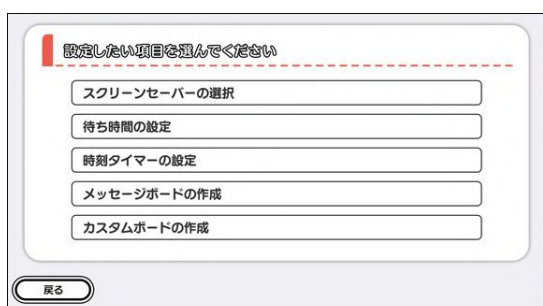
（「スクリーンセーバー設定」をタッチ）

3. スクリーンセーバーを選択する

「写真素材」・「メッセージボード」・「カスタムボード」の中から、お好みの素材を選択することが出来ます。

- ① スクリーンセーバー設定画面内の「スクリーンセーバーの選択」を選択して、画面右下の「設定する」をタッチします。

スクリーンセーバー設定画面左下の「戻る」ボタンをタッチすると、アプリ選択画面に戻ります。



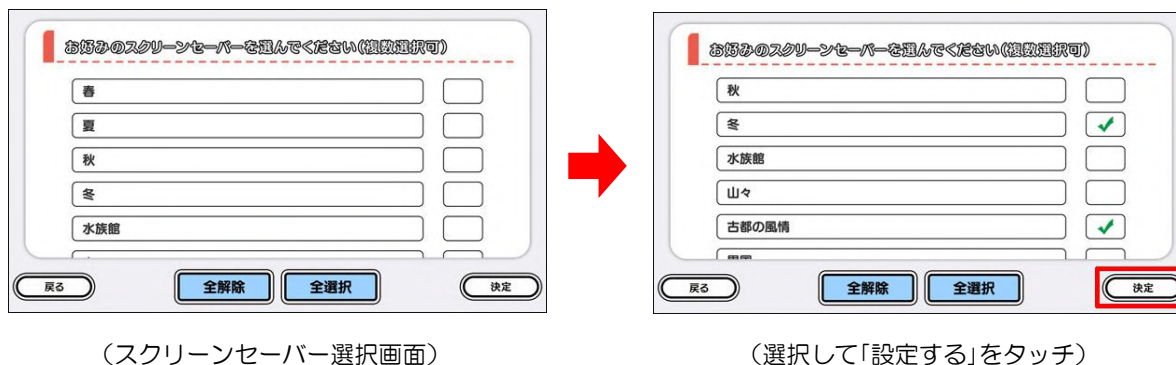
（スクリーンセーバー設定画面）



（「スクリーンセーバーの選択」を選択）

- ② スクリーンセーバー選択画面の中から、お好みの素材をチェックして「決定」をタッチすると選択完了となり、スクリーンセーバー設定画面に戻ります。

スクリーンセーバー選択画面左下の「戻る」ボタンをタッチすると、スクリーンセーバー設定画面に戻ります。

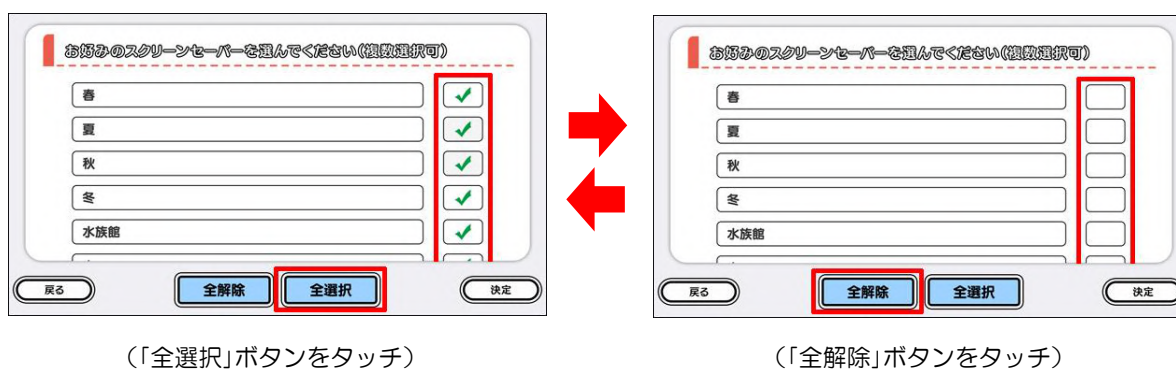


【素材の選択内容について】

複数の素材を選択した場合は、選択したすべての素材が順不同で画面に表示されます。また、素材が一つも選択されていない場合は、スクリーンセーバーは作動しません。

【「全選択」ボタンおよび「全解除」ボタン】

素材選択時、画面下の「全選択」ボタンをタッチすると、登録されているすべての素材が選択されます。同様に、「全解除」ボタンをタッチすると、選択されている素材がすべて非選択状態となります。

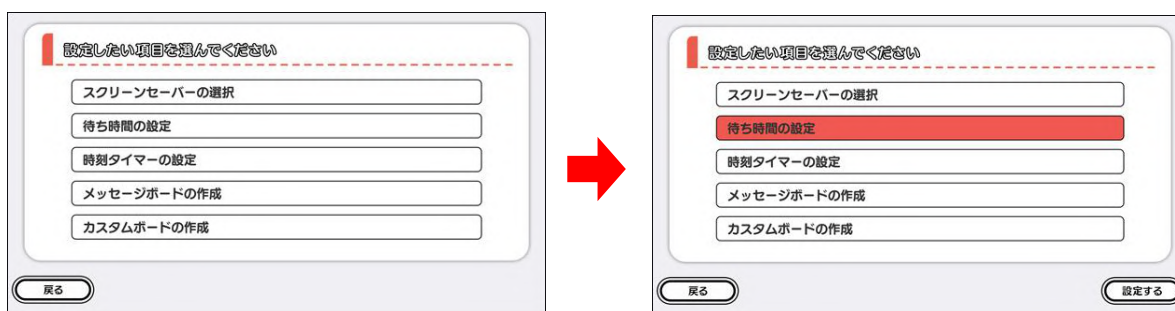


4. 待ち時間を設定する

スクリーンセーバーが作動するまでの時間を設定することが出来ます（1～60 分）。トレパチテーブルが非稼動状態となった後、設定された時間が経過するとスクリーンセーバーが作動します。

- ① スクリーンセーバー設定画面内の「待ち時間の設定」を選択して、画面右下の「設定する」をタッチします。

スクリーンセーバー設定画面左下の「戻る」ボタンをタッチすると、アプリ選択画面に戻ります。

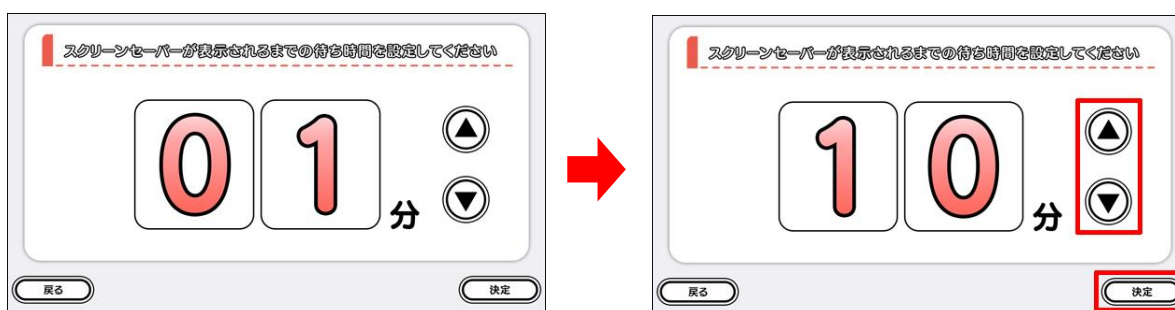


（スクリーンセーバー設定画面）

（「待ち時間の設定」を選択）

- ② 待ち時間設定画面右の▲▼を操作して、スクリーンセーバーが作動するまでの時間を設定します。待ち時間は 1～60 分の間で設定することが可能です。「決定」ボタンをタッチすると設定完了となり、スクリーンセーバー設定画面に戻ります。

待ち時間設定画面左下の「戻る」ボタンをタッチすると、スクリーンセーバー設定画面に戻ります。



（待ち時間設定画面）

（選択して「設定する」をタッチ）

5. 時刻タイマーを設定する

任意の素材について、開始および終了を設定した時刻間のみ表示することが出来ます。最大5つまで時刻タイマーを設定することが可能です。

- ① スクリーンセーバー設定画面内の「時刻タイマーの設定」を選択して、画面右下の「設定する」をタッチします。

スクリーンセーバー設定画面左下の「戻る」ボタンをタッチすると、アプリ選択画面に戻ります。



- ② 時刻タイマー設定画面が表示されますので、各項目欄をタッチして内容を設定します。
画面右上の時刻表示を参考に開始時間と終了時間を設定し、表示させたいスクリーンセーバーを選択の上、「有効」欄をチェックして「決定」をタッチすると設定完了となり、スクリーンセーバー設定画面に戻ります。

時刻タイマー設定画面左下の「戻る」ボタンをタッチすると、スクリーンセーバー設定画面に戻ります。



【スクリーンセーバー表示機能の優先について】

時刻タイマーが設定されている場合、「3. スクリーンセーバーを選択する」(2 ページ)で設定したスクリーンセーバー表示に優先する形で時刻タイマーが作動します(タイマーが設定された時刻になると、それまで表示されていた内容に代わり、時刻タイマー設定で選択した内容が表示されます)。

【「有効」欄の操作について】

②で設定した時刻タイマーは、「有効」欄をチェックすることで作動状態となります。「今は作動させないけど設定だけはしておきたい」、「設定は残したまま、作動を一旦休止したい」などの場合には、「有効」欄のチェックを外して「決定」ボタンをタッチします。

開始時間	終了時間	表示するスクリーンセーバー	有効	リセット
1 14:00 ~ 14:30		水族館	☒	☐
2 18:00 ~ 18:30		古部の高橋	☒	☐
3 00:00 ~ 00:00			☐	☐
4 00:00 ~ 00:00			☐	☐
5 00:00 ~ 00:00			☐	☐

(「有効」欄をチェックで「作動」)

開始時間	終了時間	表示するスクリーンセーバー	有効	リセット
1 14:00 ~ 14:30		水族館	☐	☐
2 18:00 ~ 18:30		古部の高橋	☐	☐
3 00:00 ~ 00:00			☐	☐
4 00:00 ~ 00:00			☐	☐
5 00:00 ~ 00:00			☐	☐

(「有効」欄のチェックを外して「非作動」)

【「リセット」欄の操作について】

②で設定した時刻タイマーを削除したい場合は、「リセット」欄の「×」をタッチします。削除確認画面内の「削除する」ボタンをタッチすると、設定を削除することが出来ます。

開始時間	終了時間	表示するスクリーンセーバー	有効	リセット
1 14:00 ~ 14:30		水族館	☒	☒
2 18:00 ~ 18:30		古部の高橋	☒	☐
3 00:00 ~ 00:00			☐	☐
4 00:00 ~ 00:00			☐	☐
5 00:00 ~ 00:00			☐	☐

(「リセット」欄の「×」をタッチ)

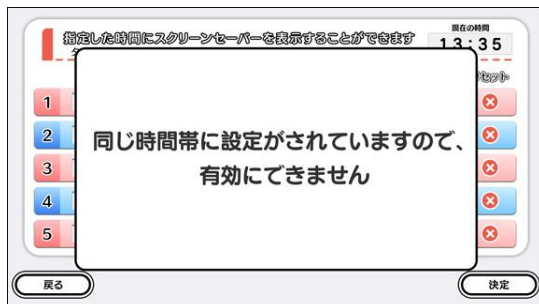
タイマー1を削除しますか?

(「削除する」をタッチしてリセット完了)

【時間帯の重複について】

時間帯が重なる形で複数の時刻タイマーを設定することは出来ませんので、ご注意ください。

例) タイマー1: 17:30~18:30 タイマー2: 18:00~19:00



(時間帯の重複設定は不可)

6. メッセージボードを作成する

トレパチテーブルもしくはパソコンにてテキストメッセージを作成し、素材として登録することが出来ます。最大 500 個までのテキストメッセージを作成・登録することが可能です。

簡単なメッセージはトレパチテーブルで作成できますが、パソコンを使用することで、漢字を用いた本格的なメッセージを作成したり、大量のメッセージを一度に作成したりすることが可能です。

6-1. トレパチテーブルでメッセージを作成する場合

- ① スクリーンセーバー設定画面内の「メッセージボードの作成」を選択して、画面右下の「設定する」をタッチします。

スクリーンセーバー設定画面左下の「戻る」ボタンをタッチすると、アプリ選択画面に戻ります。

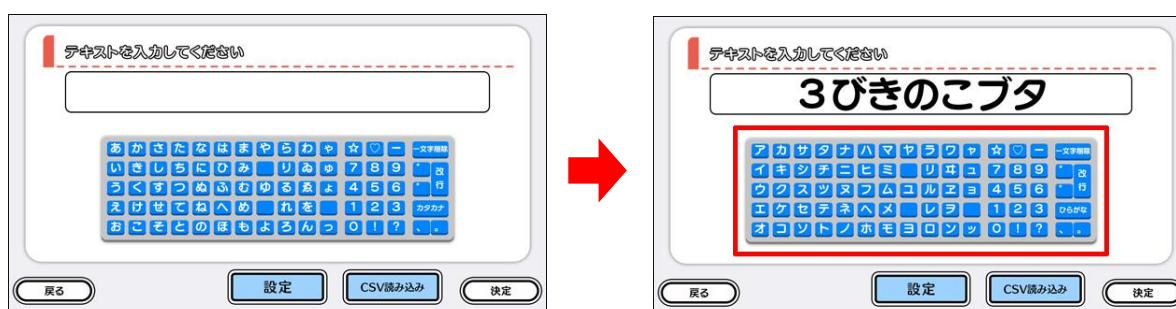


(スクリーンセーバー設定画面)

(「メッセージボードの作成」を選択)

- ② メッセージボード作成画面が表示されますので、キーボードを操作してメッセージを入力します。最大文字数は 42 文字、ひらがな・カタカナ・数字が使用可能です（漢字は使用出来ません）。

メッセージボード作成画面左下の「戻る」ボタンをタッチすると、スクリーンセーバー設定画面に戻ります。



(メッセージボード作成画面)

(キーボードでメッセージを入力)

- ③ 「設定」ボタンをタッチすると文字の色や大きさ、背景色を変更することが出来ます。変更後は中央の「決定」ボタンをタッチします。



（「設定」ボタンをタッチ）

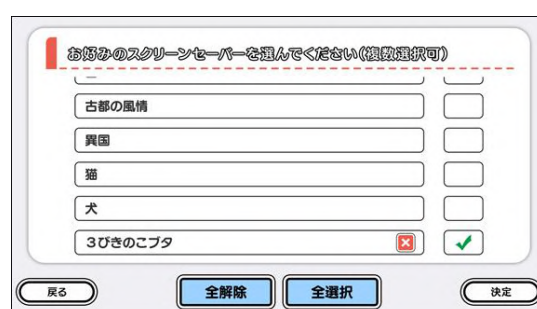


（設定を変更して「決定」をタッチ）

- ④ 画面右下の「決定」ボタンをタッチすると、メッセージの作成と登録は完了です。作成されたメッセージは自動的にスクリーンセーバーとして選択された状態となります（「3. スクリーンセーバーを選択する」（2 ページ）参照）。



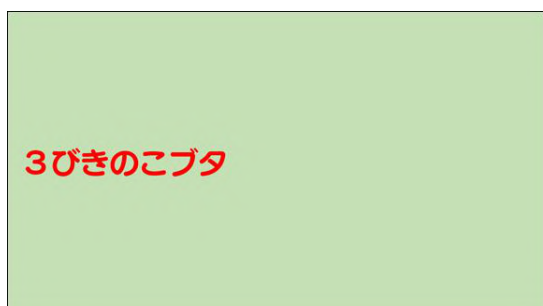
（「決定」ボタンをタッチ）



（スクリーンセーバー選択画面）

【改行について】

- ②のメッセージ入力時、「改行」キーを使用することで文章を改行することが出来ます。この場合、改行文字（「|」）も次行の行頭に 1 文字としてカウントされます。



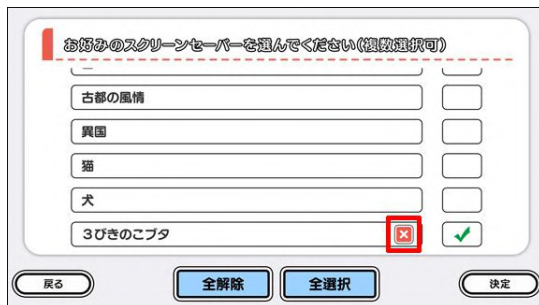
（改行なし）



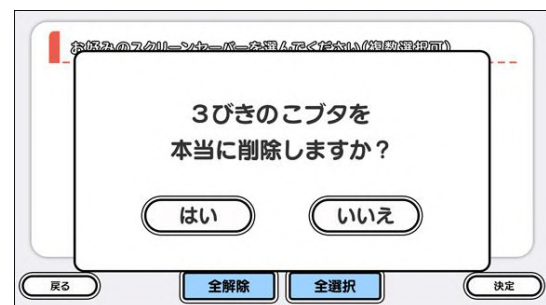
（改行あり）

【作成・登録した内容を修正したい場合】

作成・登録したメッセージを後から編集することは出来ません。内容を修正したい場合は、スクリーンセーバー選択画面にてメッセージを削除した後、①から操作をやり直して下さい。



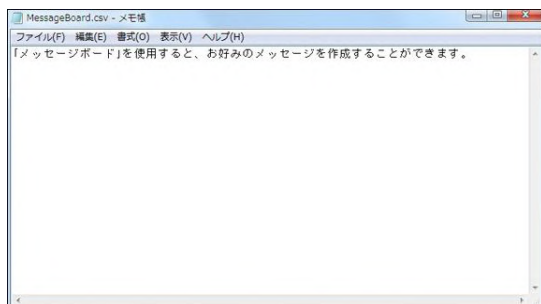
(タイトル右側の“×”をタッチ)



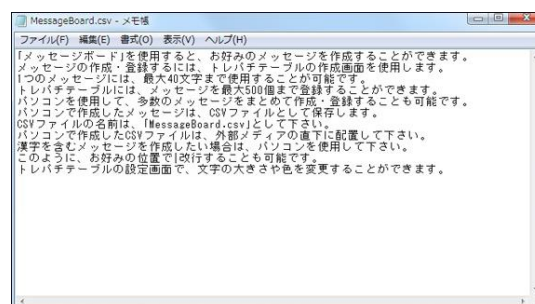
(「はい」をタッチしてメッセージを削除)

6-2. パソコンでメッセージを作成する場合

- ① パソコンでテキストファイル（「メモ帳」など）を開き、メッセージを入力します。複数のメッセージを同時に入力したい場合は、改行して次行にメッセージを入力していきます。1 メッセージあたりの最大文字数は 42 文字、漢字や記号等も使用可能です。

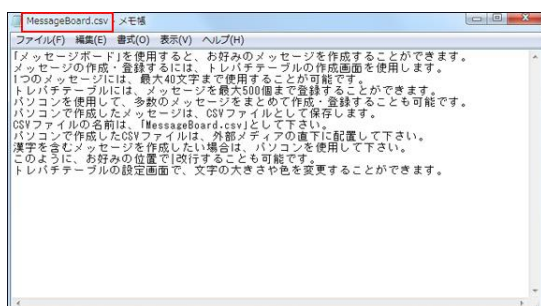


（テキストファイルにメッセージを入力）

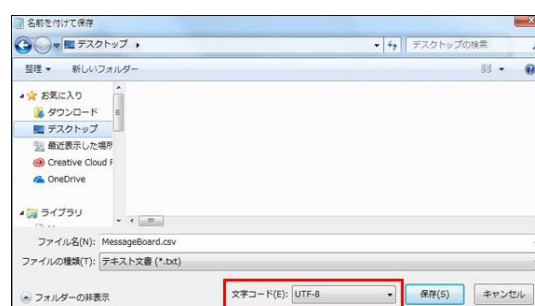


（改行して複数のメッセージを入力）

- ② すべてのメッセージを入力した後、「MessageBoard.csv」という名称で保存します。この時、文字コードには「UTF-8」を指定するようにして下さい。



（「MessageBoard.csv」として保存）



（「UTF-8」を指定する）

【メッセージ作成時の注意事項】

- ・複数のメッセージを入力する場合、改行されていないとメッセージが正しく表示されません
- ・メッセージは 42 文字まで表示できます（全角・半角の区別はありません）
- ・記号を使用する場合、種類によっては文字化けする可能性があります
- ・「|」（全角）および「|」（半角）を入力することで文章を改行することができます（改行文字も 1 文字としてカウントされます） ⇒ 16 ページ
- ・「MessageBoard.csv」以外のファイル名では、正しく動作しません
- ・「UTF-8」以外の文字コードを指定すると、読み込み時に文字化けする恐れがあります

- ③ USB メモリや SD カードなどの外部メディアに、「MessageBoard.csv」を入れておきます。
この際、以下の点をご確認下さい。

- 修正バックアップ用として、「MessageBoard.csv」はパソコン内にも残すようにして下さい
- 使用する外部メディアの種類により、必要に応じて USB 対応カードリーダーをご用意下さい
- 「MessageBoard.csv」は外部メディアの最上位階層（root 直下）に配置して下さい



（外部メディア）



（マルチカードリーダー）

- ④ スクリーンセーバー設定画面内の「メッセージボードの作成」を選択して、画面右下の「設定する」をタッチします。

スクリーンセーバー設定画面左下の「戻る」ボタンをタッチすると、アプリ選択画面に戻ります。



（スクリーンセーバー設定画面）



（「メッセージボードの作成」を選択）

- ⑤ メッセージボード作成画面が表示されますので、右下の「CSV 読み込み」ボタンをタッチします。

メッセージボード作成画面左下の「戻る」ボタンをタッチすると、スクリーンセーバー設定画面に戻ります。

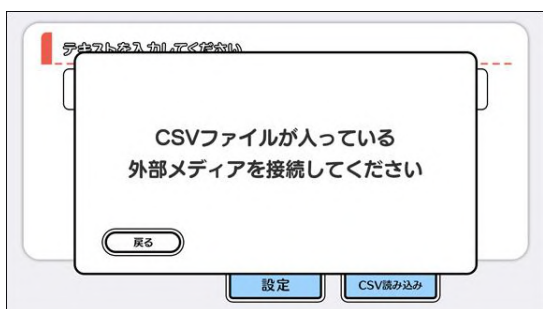


(メッセージボード作成画面)



(「CSV 読み込み」ボタンをタッチ)

- ⑥ 外部メディア接続確認画面が表示されますので、テーブル本体の USB ポートに外部メディアを接続します。「戻る」ボタンをタッチすると、外部メディア接続確認画面が消えます。



(外部メディア接続確認画面)



(USB ポート)

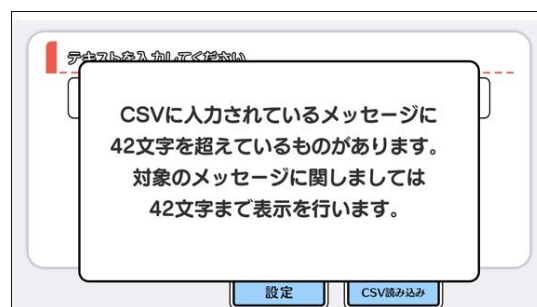
【外部メディアの取り扱いと注意】

- ▼ 複数の外部メディアを同時に USB ポートに接続しないで下さい。CSV データの読み込みが正しく行われない恐れがあります。
- ▼ CSV データが確認されず、外部メディア接続確認画面が表示されたままの状態となる場合は、以下をご確認下さい。
 - ・外部メディアの直下に「MessageBoard.csv」が入っていない／ファイル名が違っている
 - ・外部メディアの接続不良／外部メディアが破損している など

- ⑦ 「MessageBoard.csv」が認識されると、「CSV ファイルを確認しました」のメッセージが表示されます。この時、42 文字以上のメッセージが含まれていると、その旨を告知する画面が表示されます。



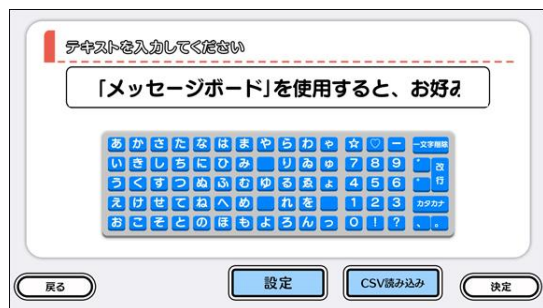
（「MessageBoard.csv」を認識）



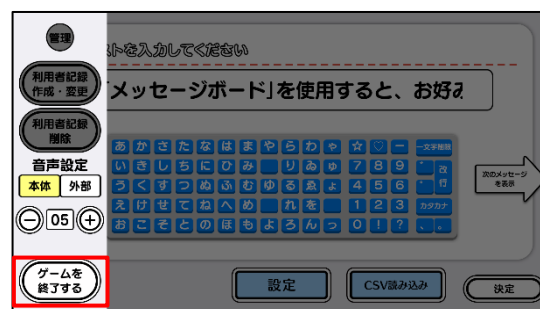
（42 文字以上のメッセージ存在する場合）

- ⑧ 「MessageBoard.csv」に記載されているメッセージがテーブル本体に読み込まれ、画面に表示されます。

⑦で42文字以上のメッセージが含まれていたなど、「MessageBoard.csv」の内容を修正したい場合は、画面左端から管理画面を引き出し、「ゲームを終了する」をタッチしてアプリを終了させ、外部メディアを取り外します。①に戻って「MessageBoard.csv」の内容を修正した後、②～⑦までの操作をやり直します。

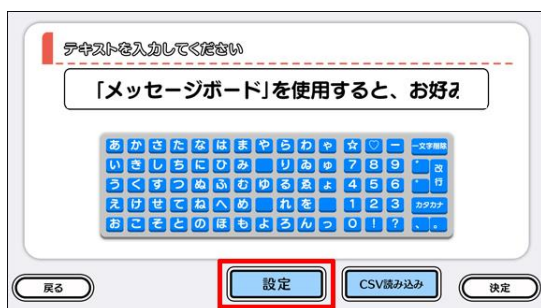


（メッセージが読み込まれます）



（CSV ファイルを修正する場合）

- ⑨ 「設定」ボタンをタッチすると文字の色や大きさ、背景色を変更することが出来ます。変更後は中央の「決定」ボタンをタッチします。

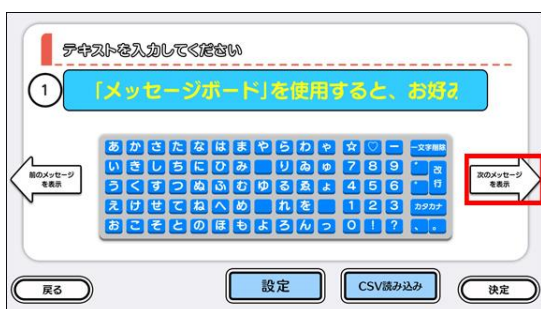


(「設定」ボタンをタッチ)

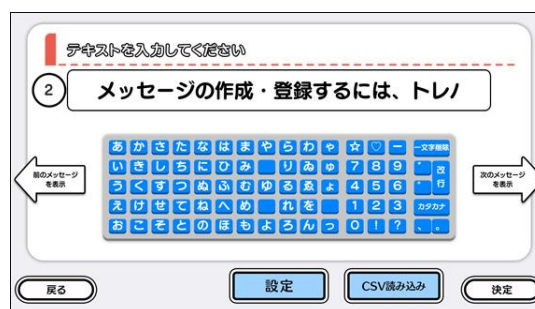


(設定を変更して「決定」をタッチ)

- ⑩ 画面右の矢印ボタン（右）をタッチすると、次のメッセージが表示されますので、⑨と同様に順次、設定を変更していきます。

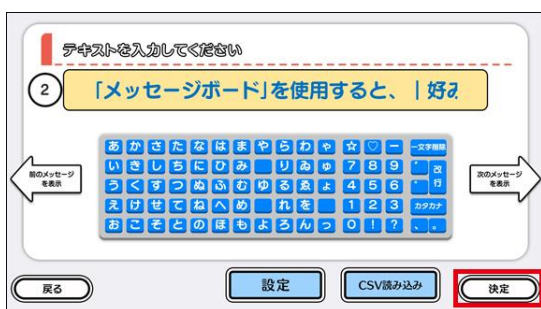


(矢印ボタン（右）をタッチ)



(次のメッセージが表示されます)

- ⑪ 画面右下の「決定」ボタンをタッチすると、メッセージの作成と登録は完了です。外部メディアをテーブル本体から取り外して下さい。作成されたメッセージは自動的にスクリーンセーバーとして選択された状態となります(「3. スクリーンセーバーを選択する」(2 ページ) 参照)。



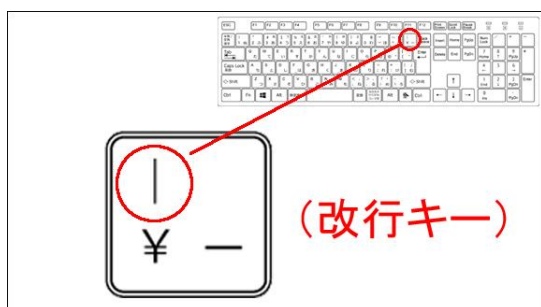
(「決定」ボタンをタッチ)



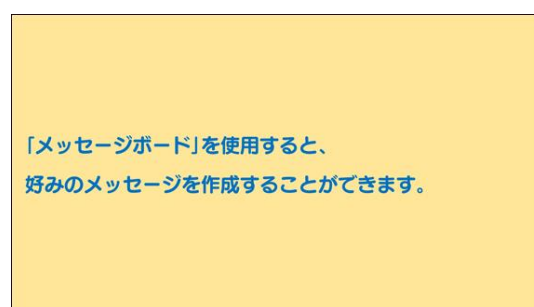
(スクリーンセーバー選択画面)

【改行について】

①のメッセージ入力時、「改行」キーを使用することで文章を改行することが出来ます。この場合、改行文字（「|」）も 1 文字としてカウントされます。



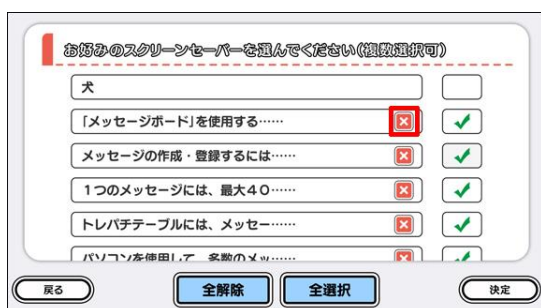
（「改行」キー）



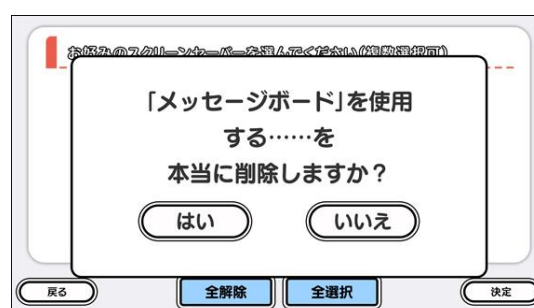
（改行あり）

【作成・登録した内容を修正したい場合】

作成・登録したメッセージを後から編集することは出来ません。内容を修正したい場合は、スクリーンセーバー選択画面にてメッセージを削除した後、①から操作をやり直して下さい。



（タイトル右側の“X”をタッチ）



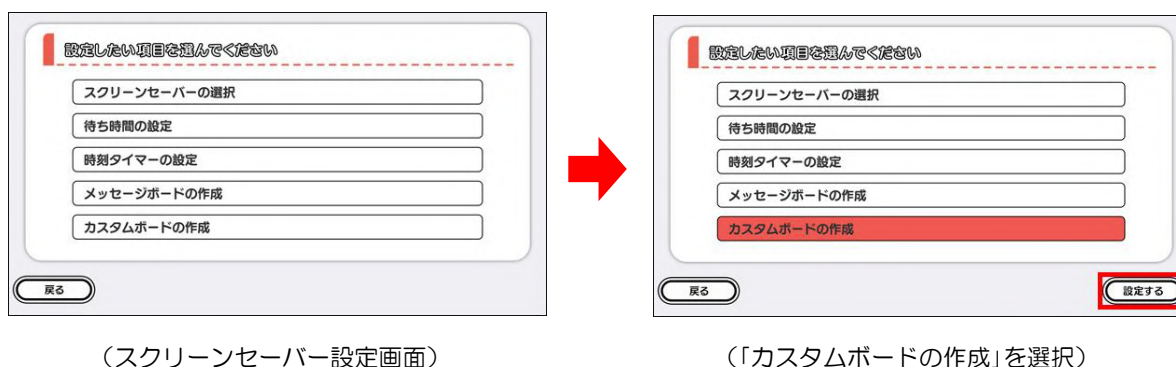
（「はい」をタッチしてメッセージを削除）

7. カスタムボードを作成する

トレパチテーブル上で簡単なお絵かきを行い、素材として登録することが出来ます。最大5個まで作成・登録することが可能です。

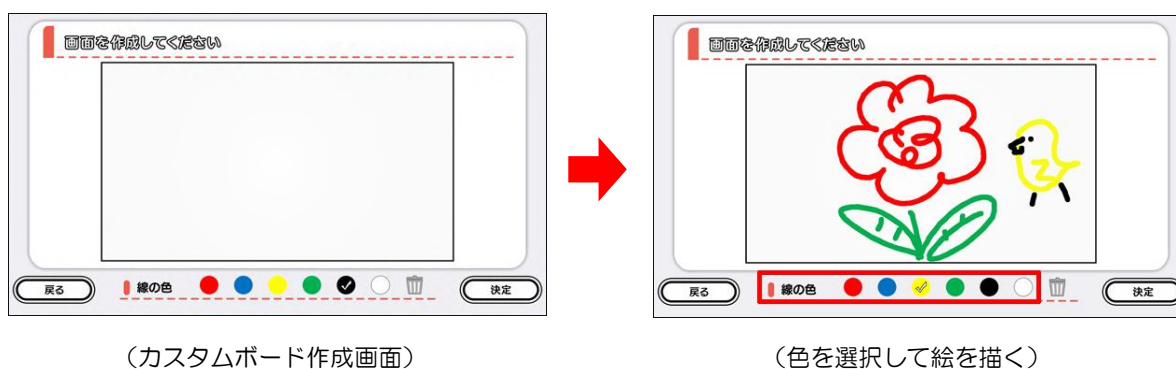
- ① スクリーンセーバー設定画面内の「カスタムボードの作成」選択して、画面右下の「設定する」をタッチします。

スクリーンセーバー設定画面左下の「戻る」ボタンをタッチすると、アプリ選択画面に戻ります。

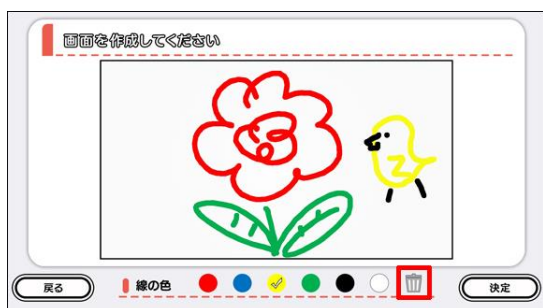


- ② カスタムボード作成画面が表示されますので、画面下部からお好みの色を選択し、指で画面に絵を描きます。

カスタムボード作成画面左下の「戻る」ボタンをタッチすると、スクリーンセーバー設定画面に戻ります。



- ③ 絵を描き直したい場合は、画面下部の「ゴミ箱」アイコンをタッチします。削除確認画面が表示されますので、「はい」をタッチして削除した後、絵を描き直します。

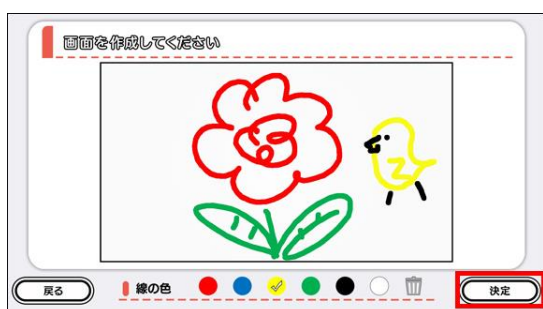


（「ゴミ箱」アイコンをタッチ）

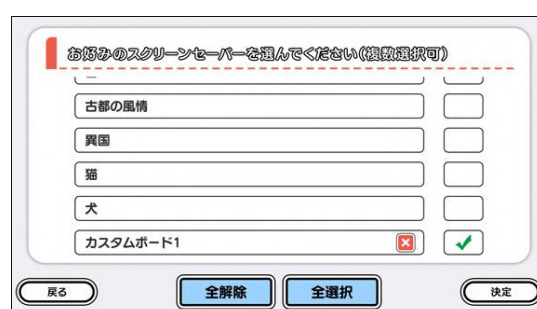


（「はい」をタッチして絵を削除）

- ④ 画面右下の「決定」ボタンをタッチすると、絵の作成と登録は完了です。作成された絵は自動的にスクリーンセーバーとして選択された状態となります（「3. スクリーンセーバーを選択する」（2ページ）参照）。



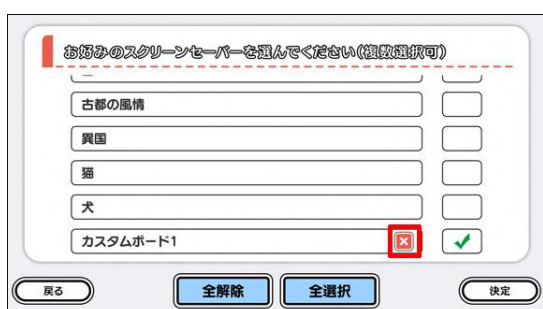
（「決定」ボタンをタッチ）



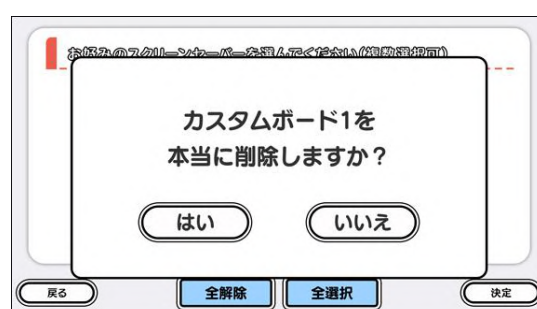
（スクリーンセーバー選択画面）

【作成・登録した内容を修正したい場合】

作成・登録した絵を後から編集することは出来ません。内容を修正したい場合は、スクリーンセーバー選択画面にて絵を削除した後、①から操作をやり直して下さい。



（タイトル右側の「×」をタッチ）



（「はい」をタッチして絵を削除）